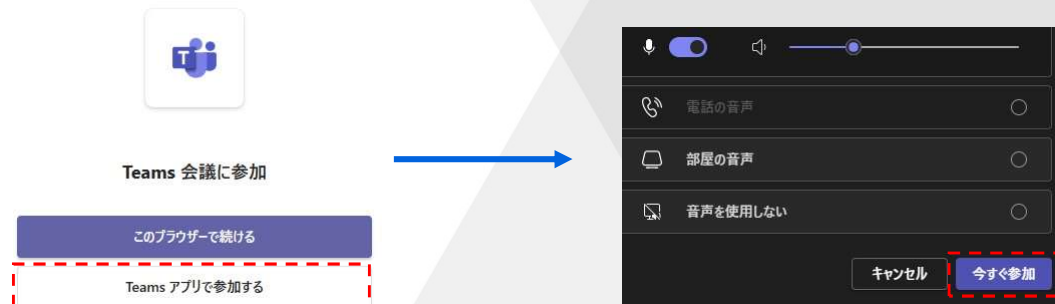
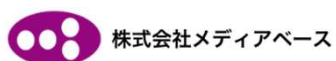


Teamsでオンライン説明会に参加する方法(※オンライン説明会の場合)

開始時刻になったらメールに記載されたURLをクリックし、「Teamsアプリで参加する」を選択(うまくいかない場合は「このブラウザで続ける」を選択)
→「今すぐ参加」をクリック
Teamsが立ち上がらない場合は一度PCの再起動をお願いします



© 株式会社メディアベース



株式会社メディアベース

会社説明会 2025

Recruit

MEDIABASE

© 株式会社メディアベース

目次

- 01.会社概要
- 02.システム開発の目的・流れ
- 03.IT業界について
- 04.当社の特徴(ミドルウェア・無停止型コンピュータ)
- 05.経営状況
- 06.教育制度・キャリアプラン
- 07.福利厚生・待遇
- 08.数字で見るメディアベース
- 09.採用試験の説明
- 10.採用実績

© 株式会社メディアベース

会社概要

設立 1989年8月
所在地 東京都渋谷区南平台町16-29
事業内容 ITインフラ（ミドルウェア）事業（80%）
Non Stopサーバ事業（20%）
従業員数 63人（男性：42名 女性：21名）
売上 6億9200万円（2024年7月期 過去最高）
設立以来35年連続黒字継続中

© 株式会社メディアベース

会社のつよみ

官公庁・テレビ局といった**大規模システム**に強い
→業界内でも珍しい1000台以上のサーバーを管理

売上の70%が景気に左右されにくい官公庁
35年連続黒字の安定企業

研修充実＝**未経験スタートの社員が約90%!**

© 株式会社メディアベース

システム開発の目的

「時間をつくる」

事例：就職活動のエントリー方法

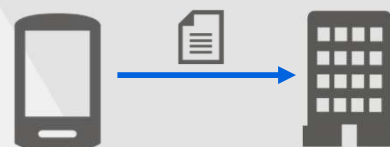
20年以上前

エントリーシート
やり取りだけで何往復も…



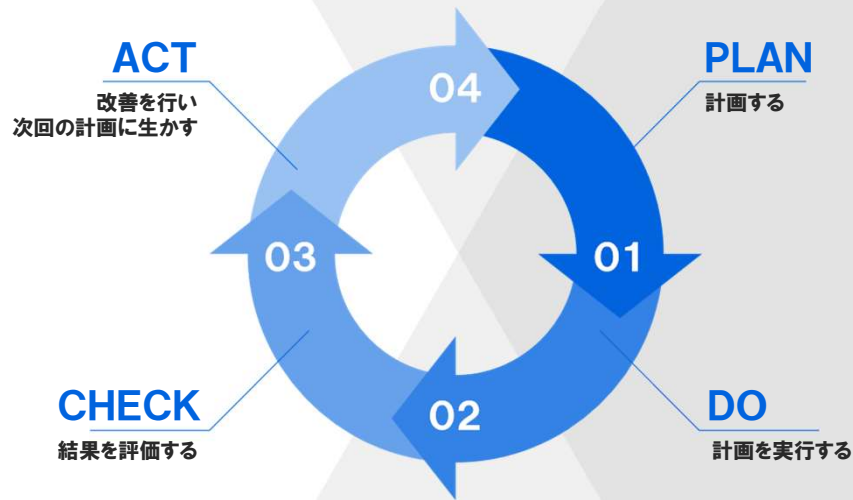
就職情報サイト誕生後

数回のクリックで
エントリー完了



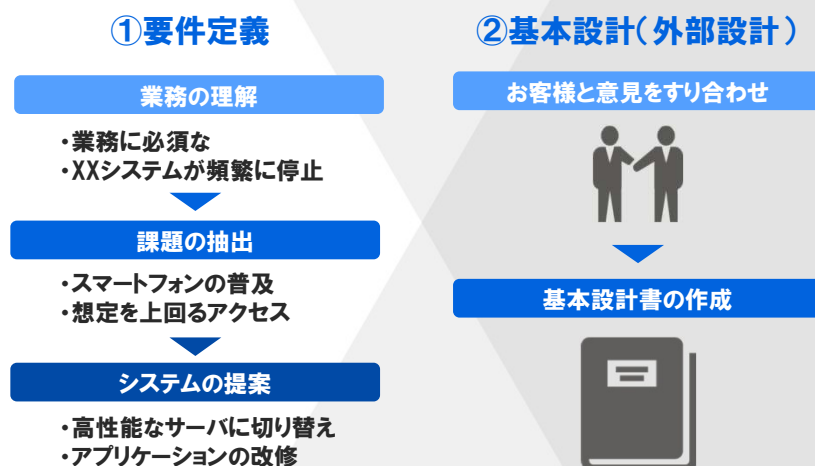
© 株式会社メディアベース

システム開発の流れ(PDCAサイクル)

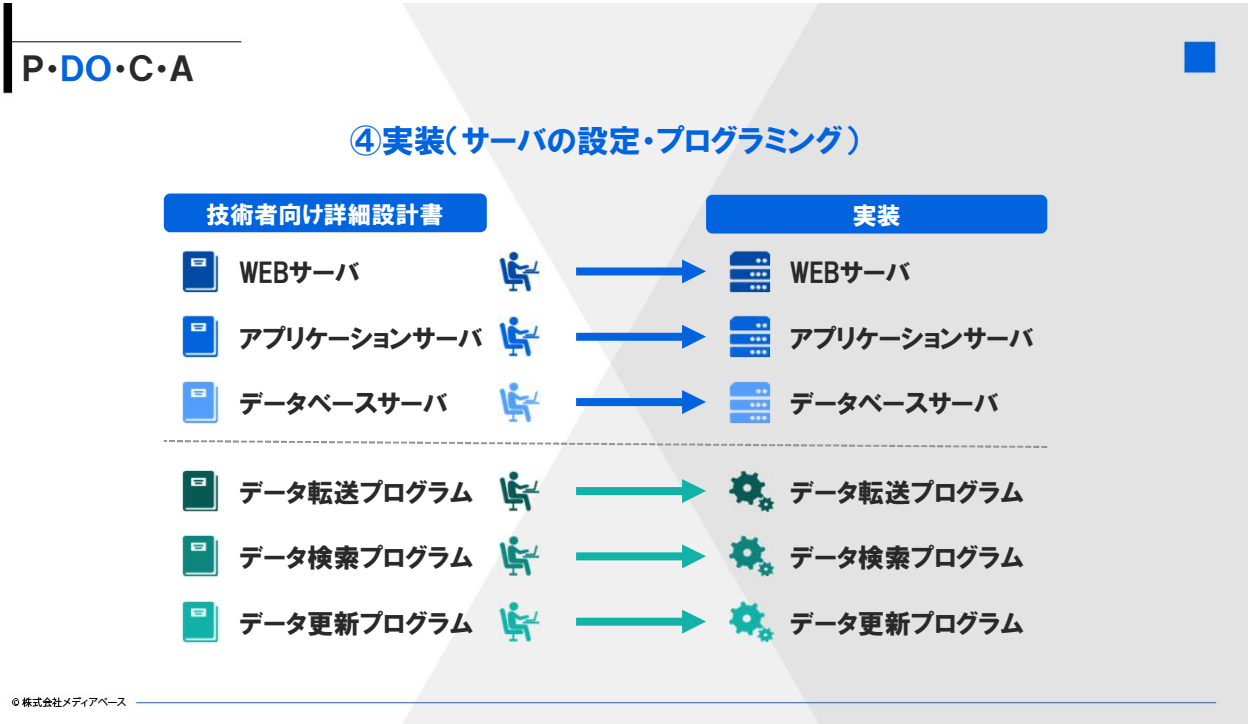
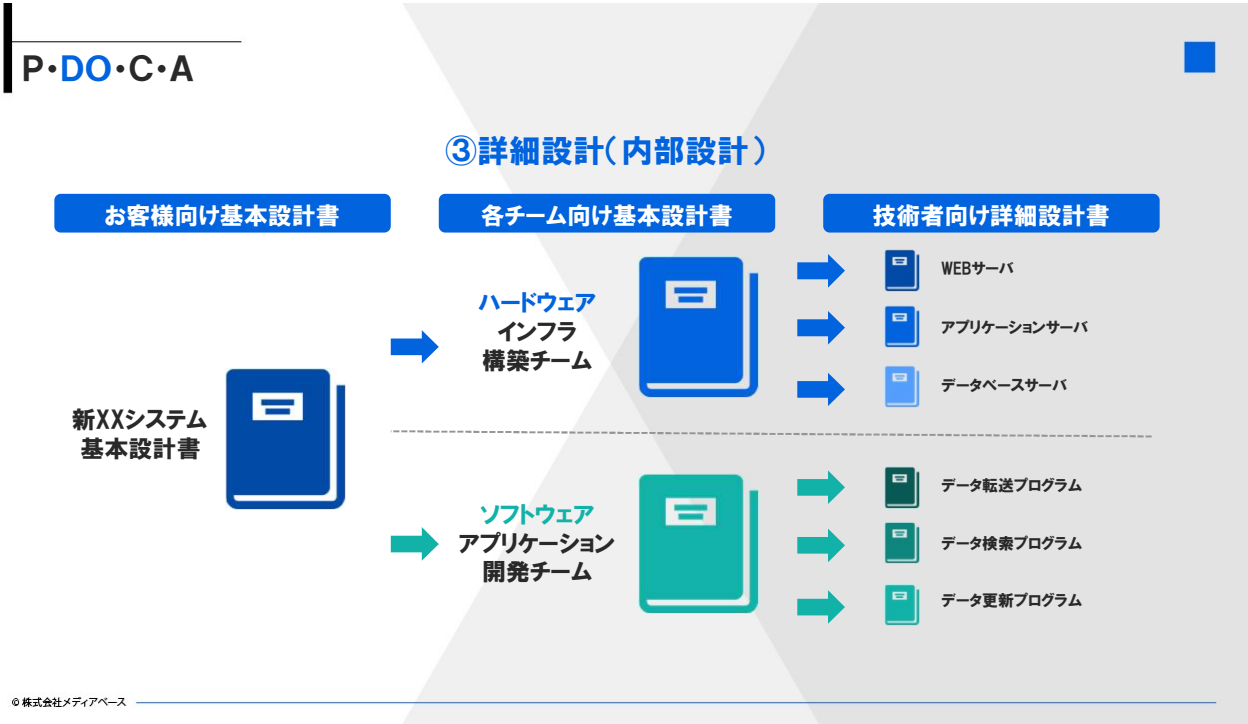


© 株式会社メディアベース

PLAN・D・C・A 例:ミニチェア模型



© 株式会社メディアベース



P・D・CHECK・A

④試験(単体→結合→総合)



試験を怠ると不良品が生まれます(例:西暦2000年問題)

© 株式会社メディアベース

P・D・C・ACT → PLAN

⑤納品



運用マニュアルの作成



お客様への説明

⑥運用・保守



稼働チェック



トラブル発生時の保証



新機能追加・改善の提案



システム改修理由

- ・既存システムの陳腐化
- ・法改正
- ・お客様の業態変化等

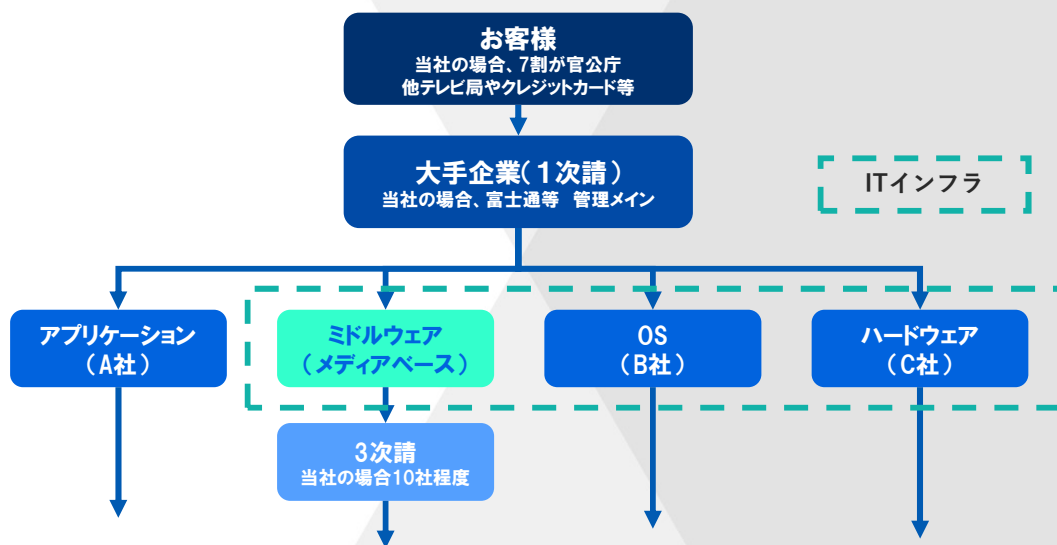
© 株式会社メディアベース

IT業界について

商品・サービスの種類 企業のタイプ	受注システム お客様は世界に1社だけ	パッケージソフト お客様は不特定多数	情報処理 必要な情報を集めて編集
メーカー系 親会社を作る ハード向けシステムを作る	コンピュータ メーカーの子会社	ゲーム・アプリ製作企業	
ユーザー系 親会社が自らが 使用するシステムを作る	金融・物流等 コンピュータ メーカー以外の子会社		
独立系 取引先に制約がない 頼れるグループ会社がない	メディアベース	ゲーム・アプリ製作企業	検索サイト SNS運営企業

© 株式会社メディアベース

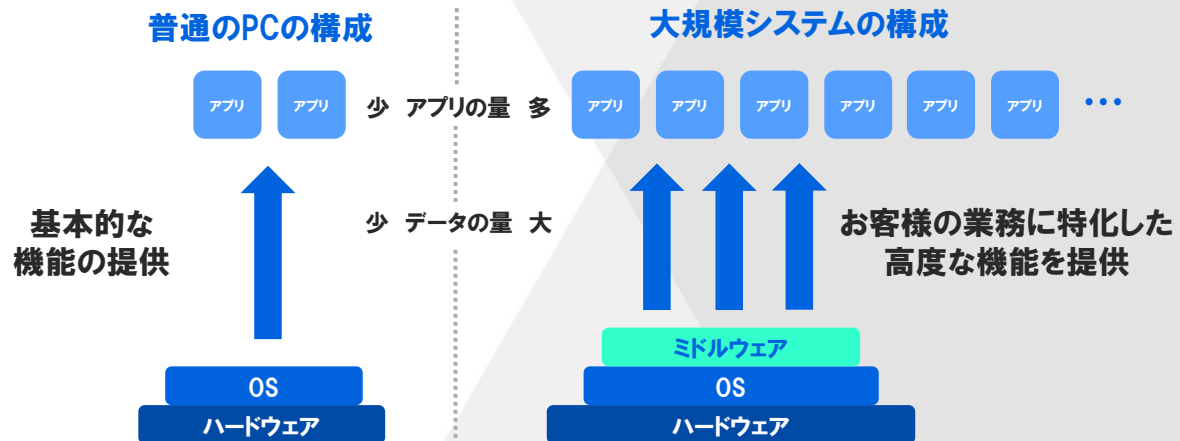
さらに詳しく見てみると…



© 株式会社メディアベース

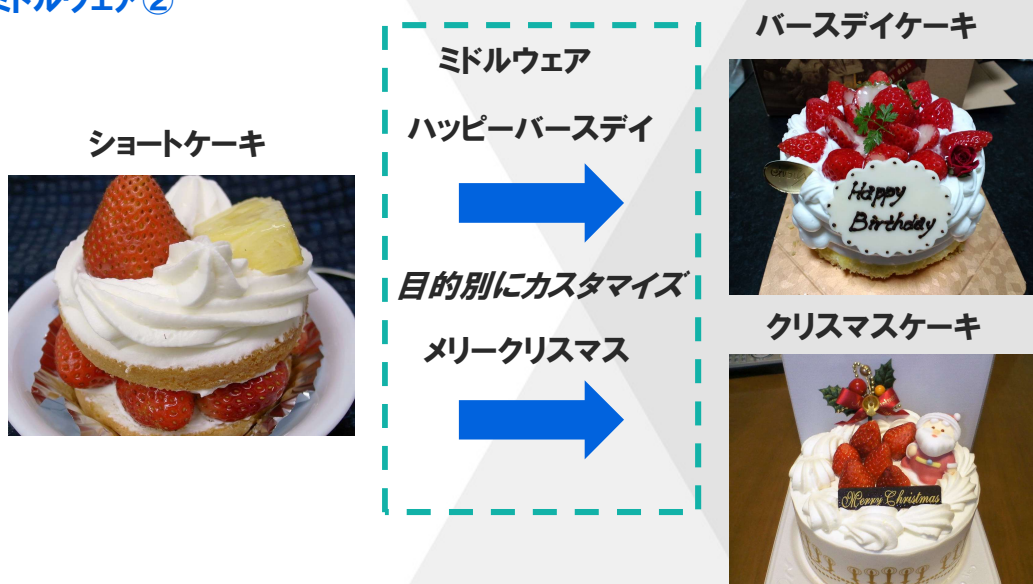
ミドルウェア①

ミドルウェアとはOSとアプリの間で両者を補完するソフトウェア



© 株式会社メディアベース

ミドルウェア②



© 株式会社メディアベース

ミドルウェア③

ミドルウェア導入前(OSのみ)
ミドルウェア導入後

→サーバの稼働の有無のみ検知可能
→サーバの故障箇所の特定+自動修復

お客様の例



© 株式会社メディアベース

ミドルウェア④

共通する機能をミドルウェアに集約することによりアプリの開発コストを低減

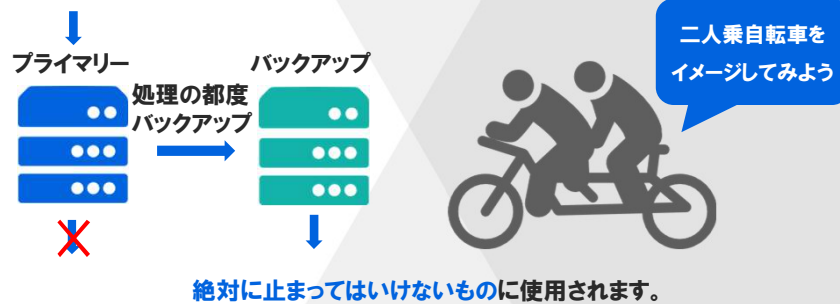


© 株式会社メディアベース

FTサーバ(無停止型コンピュータ)

Fault (失敗)に対してTolerantな(寛容な、耐久力がある)サーバ

2台以上のコンピュータを並列に設置(冗長化)



© 株式会社メディアベース

今後(クラウドサービスに注力)

オンプレミス(自社で設備を保有)



サービス提供



自社に合わせて
カスタマイズしやすい

クラウド(外部の設備を利用)

例:アマゾンのAWS
マイクロソフトのAZURE等



サービス提供



自社で設備を
保有しない

状況に応じてスケールを
コントロールしやすい

クラウドサービス契約



© 株式会社メディアベース

当社の就業状況

数名のチーム単位で
開発現場で就業



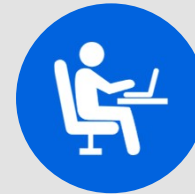
就業場所は
東京23区内



数日間の国内出張は
年間全社で数件程度



約30%の従業員は
週1回以上の在宅勤務



© 株式会社メディアベース

経営状況

決算期	2020/7	2021/7	2022/7	2023/7	2024/7
売上	5億4900万	5億3900万	5億4300万	6億3700万	6億9200万
経常利益	7500万	4500万	5100万	7000万	6400万
経常利益率	13.7%	8.3%	9.4%	11.0%	9.2%

コロナ禍でも改元対応（平成→令和）等の受注により最高益
2024年7月期は過去最高の売上を記録

© 株式会社メディアベース

入社前教育(6ヶ月前～入社)



仕事に必要な知識を身に付けるため、
基本情報技術者試験に対応した通信教育を受講します。
 (合格の場合一時金支給)



また忘年会等の社内イベントにも参加でき、
 入社前から**当社の従業員と交流を深める**ことができます。

© 株式会社メディアベース

入社後教育(正式配属まで)

OFF-JT
 (4月～6月)

主に社外の研修機関で座学形式の研修

ITに関する知識の他、自ら考え、調べ、解決することで
 問題解決能力を身に付ける

OJT
 (7月～9月)

先輩社員に同行して現場での作業を経験

第1・2開発部の
 どちらかに正式配属
 (10月～)

第1開発部・・・インフラの構築(ミドルウェア)

第2開発部・・・FTサーバ系のアプリケーション開発

© 株式会社メディアベース

参考：2024年4～6月の研修内容

項目	内容
IT基礎	Office/ビジネスマナー/ロジカルシンキング/セキュリティ
情報処理基礎	ハードウェア/ソフトウェア/ネットワーク/データベース/正規化
OS Linux	コマンド/シェルスクリプトプログラミング
運用監視	冗長化/バックアップ/監視ツール導入
ネットワーク	ルーティング
サーバ・クラウド	Webサーバ/DBサーバ/NFSサーバ/DNSサーバ/AWS
OS Windows	インストール/ネットワーク設定/共有フォルダ/リモートアクセス/アカウント管理
システム構築実習	要件定義/基本設計/詳細設計/実装/単体試験/結合試験/総合試験/成果発表

© 株式会社メディアベース

入社後教育（正式配属後～3年目まで）

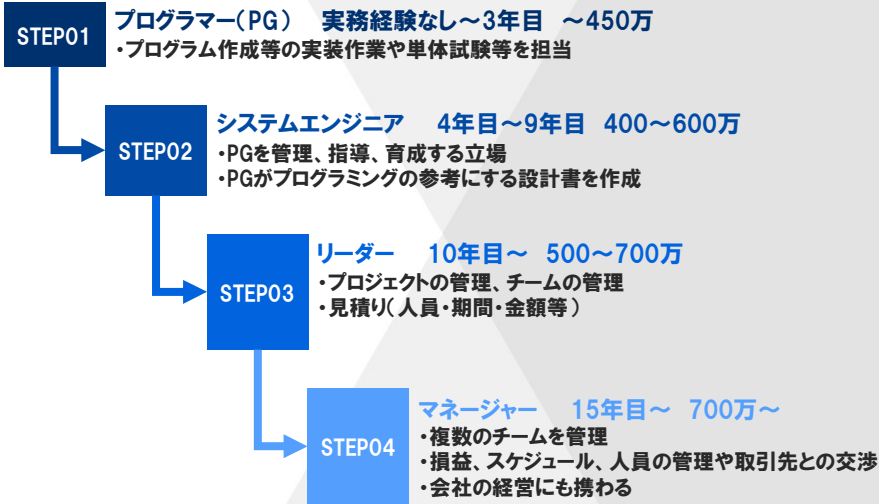
1人の新入社員に対し、1人の先輩社員が
教育担当として就きます。

部署単位で3年目までに習得すべき技能が1枚シートにまとめられ、教育担当はこのシートを基に教育を実施します。

教育担当は毎月新入社員への教育の
進捗状況を社長に報告します。

© 株式会社メディアベース

キャリアプラン



© 株式会社メディアベース

主な各種手当等

基本給	大学・大学院 220,000円 専門・高専・短大 200,000円
残業手当	100%支給 (2024年月平均残業22.4時間・・・1年目の場合 約4万円)
役付手当	主任 5,000円 課長代理 25,000円 課長 60,000円 次長 75,000円 部長 90,000円
家族手当	配偶者 11,000円 子供 5,000円 満60歳以上の直系親族(親等) 3,000円
出先勤務手当	社外で勤務した日数が過半数の場合に5,000円支給
シフト勤務手当	正午以降勤務開始した場合1回につき1,000円支給
通勤手当	全額支給
賞与	年2回(7月、12月) 1年目・・・7月 0.5か月 12月 1か月 4・5年目程度で合計平均4か月
昇給	年1回(4月)

© 株式会社メディアベース

福利厚生

関東ITソフトウェア
健康保険組合
(還元金・保養所割引)



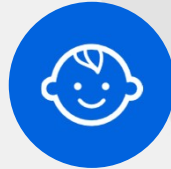
中小企業退職金共済
(確定給付年金) 401K
(確定拠出年金 各自で運用)



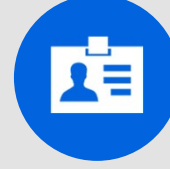
財形貯蓄制度
(利子補給あり)



育児介護費用補助



新人歓迎会・社員旅行等
各種イベント補助



© 株式会社メディアベース

労働日・休日

項目	内容
勤務時間	9:00～17:30 実働7.5時間 2年目以降はフレックスタイム (実働7.5時間 コアタイム10:00～15:00) 例:1ヶ月の出勤日が20日の場合、150時間以上の勤務でクリア
休日	土日祝日完全週休2日制 夏期休暇3日 会社創立記念日 7月12日 年間休日120～125日(有給休暇除く)
有給休暇	入社時2日+3日(入社3ヶ月)+12日(入社6ヶ月) 2024年 平均取得日数15.8日(夏期休暇除く)
育児休業	法定通り子供が1歳になるまで(保育所に入れない場合等は2歳まで)取得可能 育児休業の取得実績は6名(女性5名 男性1名 1名育児休業中)
育児短時間勤務	小学校入学前まで1日の勤務時間を5.5時間に短縮可能

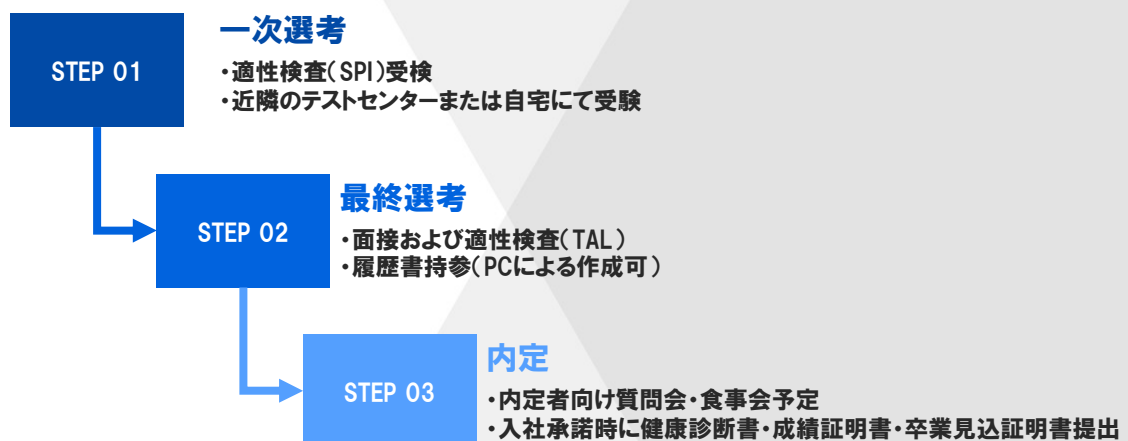
© 株式会社メディアベース

数字でみるメディアベース

文理比	男女比	残業時間	年間休日数
3:1	2:1	22.4時間	125日
有給休暇の取得日数	育児休業復職率	新卒入社3年以内定着率	平均年収
15.8日	100% (男性も取得実績あり)	87%	531万
平均年齢	平均勤続年数	連続黒字	有利子負債
34.8歳	9.7年	35年	0

© 株式会社メディアベース

採用試験



© 株式会社メディアベース

採用実績

2025年入社	男性4名	女性1名（離職0名）
2024年入社	男性2名	女性6名（離職1名）
2023年入社	男性2名	女性2名（離職0名）
2022年入社	男性1名	女性2名（離職1名）
2021年入社	男性4名	女性0名（離職0名）
2020年入社	男性1名	女性2名（離職0名）

© 株式会社メディアベース

採用実績校

青山学院大学、亜細亜大学、岩手大学、宇都宮大学、愛媛大学、桜美林大学、大妻女子大学、岡山県立大学、岡山理科大学、香川大学、学習院大学、九州大学、京都女子大学、近畿大学、慶應義塾大学、恵泉女学園大学、神戸市外国語大学、國學院大學、国士舘大学、駒澤大学、埼玉大学、上智大学、成蹊大学、成城大学、専修大学、大正大学、大東文化大学、高崎経済大学、拓殖大学、千葉大学、中央大学、中京大学、筑波大学、都留文科大学、帝京大学、電気通信大学、東海大学、東京学芸大学、東京経済大学、東京工芸大学、東京国際大学、東京電機大学、東京農工大学、東京農業大学、東京理科大学、東洋大学、鳥取大学、長崎県立大学、日本大学、日本工業大学、日本女子大学、日本獣医生命科学大学、八戸工業大学、弘前大学、広島市立大学、文教大学、法政大学、明海大学、明治大学、明星大学、目白大学、立教大学、立正大学、立命館大学、早稲田大学

© 株式会社メディアベース

2024新卒入社理由

- ある程度規模の小さな会社の方が要望、打診、質問などを取り合っていていただけそうだったため。教育が手厚く、力をつけられるのではないかと考えたため。
- 面接で訪れた際の雰囲気良かったため 未経験の方が多く3か月の研修もあり 安心したため。
- 研修期間が3か月ある等、教育制度が充実していると感じたため。
- 合同説明会と会社説明会でお話を聞き、興味を持ったためです。最終的には福利厚生の手厚さと経営基盤の安定性、そして業務内容への興味が決め手となりました。
- 他社と比較して、初心者でも安心のできる手厚い教育制度（入社前の通信教育・入社後の外部研修・研修後のOJTなど）に興味を持ったからです。

©株式会社メディアベース



株式会社メディアベース

シェル体験

Recruit

MEDIABASE

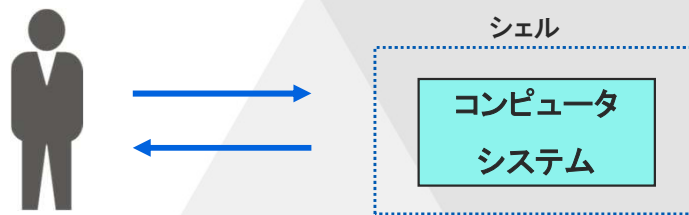
©株式会社メディアベース

シェル(SHELL)とは

シェルとはユーザ(人)がコンピュータシステムを操作するためのソフトウェアです。人が触れることのできるコンピュータシステムの一番外側という意味でShell=殻と呼ばれています。

人はコンピュータの言葉がわからない

コンピュータは人の言葉がわからない



シェルを用いて指示を出し、結果を表示

© 株式会社メディアベース

GUIとCUI

- ・GUI(Graphical User Interface)・・・主にマウスで操作
- ・CUI(Character User Interface)・・・キーボードで操作

	GUI	CUI
メリット	・ 操作方法が直感的で習得が容易	・ 繰り返し作業が高速 ・ スクリプトの再利用が可能
デメリット	・ 操作方法を画一化しにくい ・ 繰り返し作業にその都度時間がかかる	・ コマンドの習得に時間がかかる

© 株式会社メディアベース

コマンド

今回はWindowsのシェルであるPowerShellを使用します。
PowerShellのコマンドは「動詞-名詞」という構造になっています。
コマンド「get-date」(日付情報を取得する)
(以降「」内の文字を入力し、エンターキーを押す)
→今日の日時や現在の時刻が表示されます。

© 株式会社メディアベース

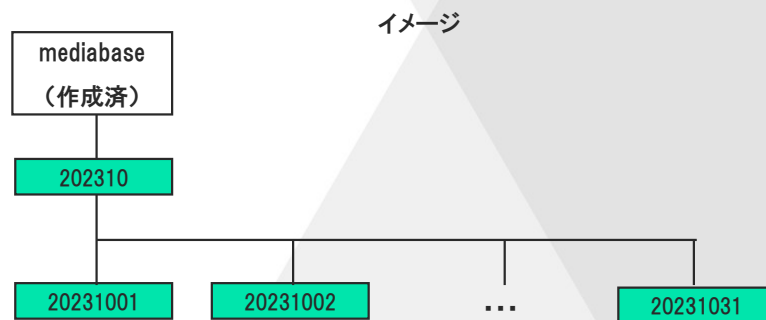
オプション

コマンドに「-」(ハイフン)と特定の文字を入力することで、コマンドの機能を変更することができます。これをオプションと呼びます。
「↑」を押して過去の履歴を基に編集してコマンドを入力してみましょう。
コマンド「get-date -format D」
コマンド「get-date -format d」
→日付のみ表示されます。

© 株式会社メディアベース

実習1 ディレクトリの作成

これからコマンドに必要なに応じてオプションを組み合わせてシェルを体験します。
あなたは新人のシステムエンジニアで上司から毎日の日報を入れるため、以下の構造のディレクトリ(データを保存場所を示す住所のようなもの)を作成するよう指示を受けました。



© 株式会社メディアベース

ディレクトリの作成

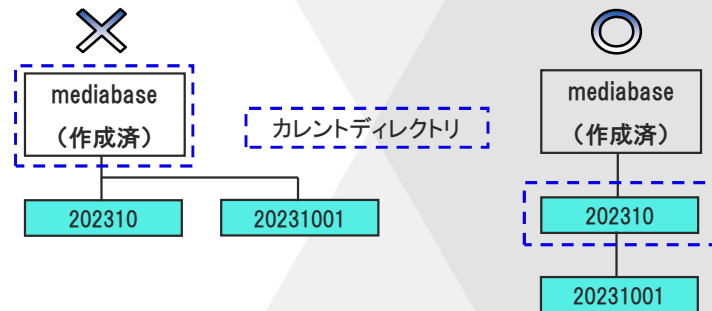
コマンド「`new-item 202310 -itemtype directory`」
→mediabaseの下に202310というディレクトリが作成されます。



© 株式会社メディアベース

カレントディレクトリの移動

現在操作対象のディレクトリのことをカレントディレクトリといいます。
別のディレクトリを操作する場合はカレントディレクトリを移動させます。



コマンド「set-location 202310」

→カレントディレクトリが「202310」に移動します。

© 株式会社メディアベース

ループ

「 new-item 20231001 -itemtype directory 」

「 new-item 20231002 -itemtype directory 」と一つずつ入力すると時間がかかりますので同じ作業繰り返すループを使用します。

まずは20231001 20231002 ...20231031と連続した数字を画面に表示させます。

コマンド「\$i=20231001」

→変数(数字を一時的に入れておく箱)に「20231001」を入力

コマンド「while (\$i -le 20231031) 」

→変数*i*が20231031以下の間(less than or equal)

コマンド「{\$i

\$i=\$i+1}」→変数*i*を表示し、変数*i*に1を足すことを繰り返す。

20231001 20231002 ...20231031と連続した数字が表示されます。

© 株式会社メディアベース

ループを利用したディレクトリの大量作成

コマンド「\$i=20231001」

→変数(数字を一時的に入れておく箱)に「20231001」を入力

コマンド「while (\$i-le 20231031)」

→変数iが20231031以下の間(less than or equal)

コマンド「{new-item \$i -itemtype directory
\$i=\$i+1 }」

→変数iが20231031以下の間、変数iという名前のディレクトリを作成し、
変数iに1を足すことを繰り返す。

© 株式会社メディアベース

ディレクトリの削除

作成したディレクトリを削除します。

コマンド「set-location ..」

→カレントディレクトリを一つ上の「mediabase」に移動

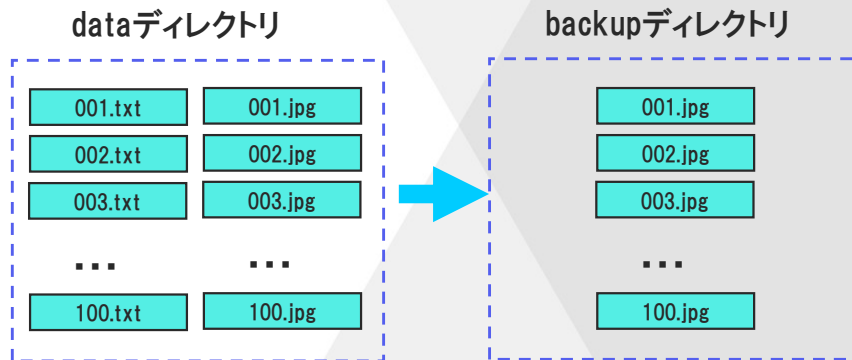
コマンド「remove-item -recurse 202310」

→ディレクトリを削除

© 株式会社メディアベース

実習2 ファイルのコピー

dataディレクトリに「XXX.txt」と「XXX.jpg」という複数のファイルがあります。これを「.jpg」というファイルのみをbackupディレクトリにコピーしましょう。



© 株式会社メディアベース

ファイルの検索

コマンド「set-location . data」

→ カレントディレクトリを「data」に移動

コマンド「get-childitem」

→ カレントディレクトリ(C:\Users¥mediabase¥data)にある

すべてのファイルが表示されました。

コマンド「get-childitem *.jpg -recurse」（*は0文字以上のすべての文字）

→ カレントディレクトリ(data)にある

「.jpg」を含むファイルが検索されました。

© 株式会社メディアベース

ファイルの検索

コマンドAで出力した結果をコマンドBに引き渡す場合「A | B」と入力します。
この「|」をパイプと呼びます。

カレントディレクトリにある「.jpg」を含むファイルを

コマンド「get-childitem *.jpg -recurse |

copy-item -destination C:\Users\¥mediabase¥backup」

C:\Users\¥mediabase¥backupにコピー

© 株式会社メディアベース

シェルスクリプト

都度コマンドを入力するのは大変です。

また多くの方はコマンドの知識がありません。

そこで定型業務はシェルスクリプトを作成することにより、簡単に実行することができます。（スクリプトとは脚本という意味）

テキストファイル「backup」をダブルクリック

「set-location .\data」改行

「get-childitem *.jpg -recurse |

copy-item -destination C:\Users\¥mediabase¥backup」と入力し、

「ファイルの種類」→「すべてのファイル」を選択

→ファイル名「backup.ps1」で保存

→  backup というファイルを選択し、右クリック「PowerShellで実行」選択

© 株式会社メディアベース

リダイレクト

定期的にシェルスクリプトが実行されているか確認できるように実行される都度、実行された日時が記録されると管理しやすい。

コマンド「set-location 〃..」

コマンド「get-date 〃>> 〃 log.txt」

→log.txtに現在の日時が入力されました。

先程の「backup.ps1」をダブルクリックし、上記2つのコマンドを追加し、保存して、再び右クリック「PowerShellで実行」を選択

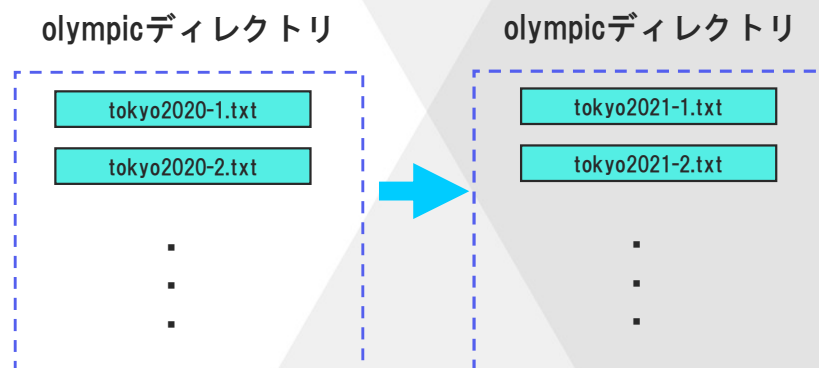
→log.txtにシェルスクリプト実行時の日時が入力されました。

© 株式会社メディアベース

実習3 ファイル名の変更

東京オリンピックが1年延期されました。

ファイル名の「2020」の部分「2021」に変更しましょう



© 株式会社メディアベース

ファイル名の一括変更

コマンド「set-location olympic」

→カレントディレクトリを「olympic」に移動

ファイル名の一部「2020」を「2021」に置き換えましょう

コマンド「get-childitem | rename-item」

-newname{\$_name -replace " 2020" ," 2021" }」

変更する箇所

変更後のファイル名

ファイル名を次回開催に向けて「paris2024-1」「paris2024-2」・・・に変更してみましょう

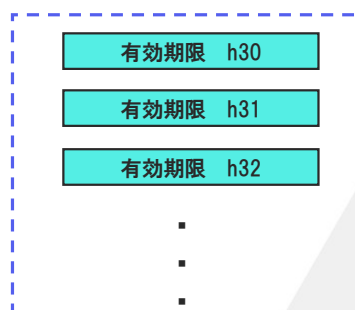
© 株式会社メディアベース

実習4 データの更新

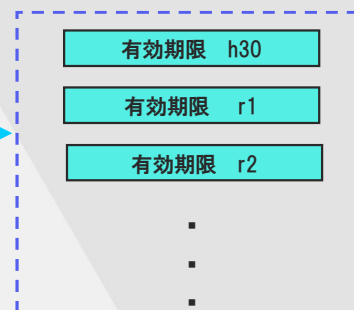
改元が行われ、年号が平成から令和になりました。

運転免許証データの有効期限を更新しましょう。

改元前



改元後



© 株式会社メディアベース

データの出力

コマンド「set-location┐..」

コマンド「set-location┐driver」

→カレントディレクトリをC:¥Users¥mediabase¥driverに移動

コマンド「get-content┐” 1.txt”」

→ファイル「1.txt」のデータを出力

コマンド「select-string┐*.txt┐-pattern┐” h31”,” h32”」

→「h31」または「h32」が含まれるファイルのデータが出力

© 株式会社メディアベース

データの更新

ファイル「2.txt」のデータ「h31」を「r1」更新

コマンド「(get-content┐” 2.txt”)┐

|┐foreach┐{\$_-replace┐” h31”,” r1” }┐

|┐set-content┐” 2.txt”」

1行目 ファイル「2.txt」のデータを出力

2行目 出力したデータの「h31」を「r1」に更新

3行目 更新したデータをファイル「2.txt」に入力

© 株式会社メディアベース

条件分岐(Aの条件に該当する場合Bの処理をする)

条件分岐の基本構文

if(条件式1){	相手がグーの場合
条件1が\$trueの場合の処理	自分はパーを出す
}elseif(条件式2){	相手がパーの場合
条件2が\$trueの場合の処理	自分はチョキを出す
}	
else{	相手がグーでもパーでもない場合（チョキ）
どの条件も\$trueでない場合の処理	自分はグーを出す
}	

© 株式会社メディアベース

条件式

コマンド「\$driver=get-content 3.txt」

コマンド「\$driver.contains(“h31”)」

→\$false

コマンド「\$driver.contains(“h32”)」

→\$true

© 株式会社メディアベース

条件分岐を用いたデータの更新

ファイル「3.txt」のデータが「h31」の場合は「r1」に更新
「h32」の場合は「r2」に更新する(最後のelseは省略)

```

コマンド「if($driver.contains( "h31" )){
  (get-content "3.txt")|_foreach{$_-replace "h31", "r1"}|_
  |_set-content "3.txt"
}elseif ($driver.contains( "h32" )){
  (get-content "3.txt")|_foreach{$_-replace "h32", "r2"}|_
  |_ set-content "3.txt" }

```

© 株式会社メディアベース

ループと条件分岐を用いたデータの更新

ファイル「1.txt」のデータが「h31」の場合は「r1」に更新
「h32」の場合は「r2」に更新する(最後のelseは省略)

↓

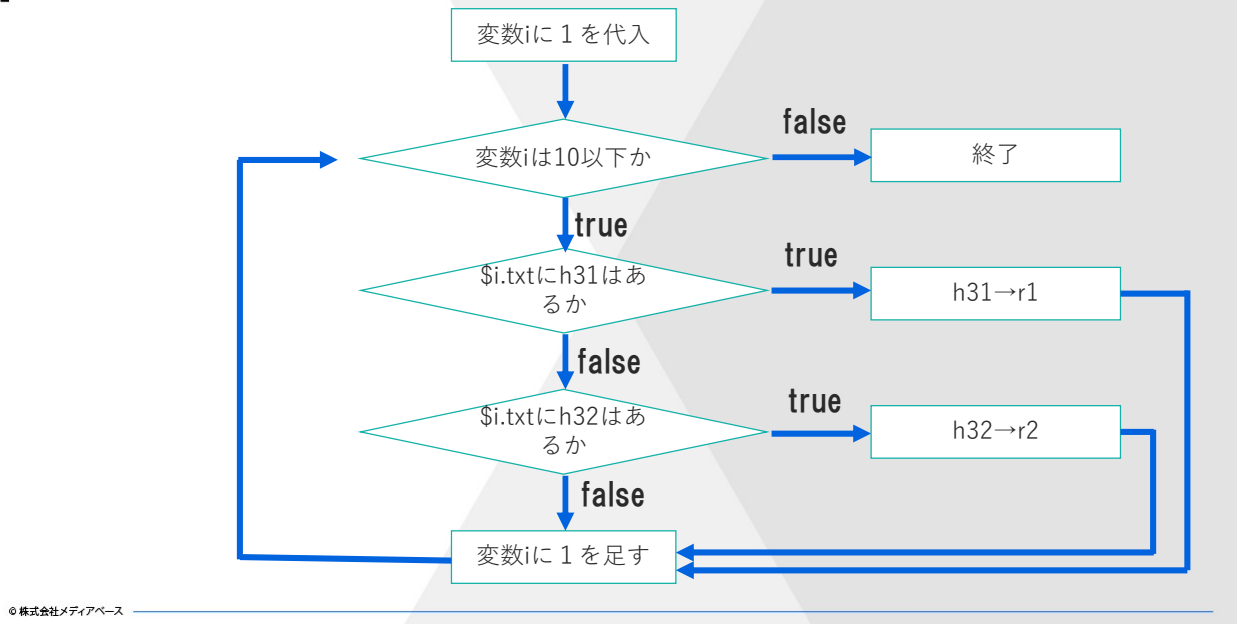
ファイル「2.txt」のデータが「h31」の場合は「r1」に更新
「h32」の場合は「r2」に更新する(最後のelseは省略)

↓

...

© 株式会社メディアベース

ループと条件分岐を用いたデータの更新



ループと条件分岐を用いたデータの更新

\$i=1

```

while($i-le-10)
{
  $driver=get-content- $.txt
  if($driver.contains( "h31~")){
    (get-content- "$i.txt" )|>>foreach- $_-replace- "h31" , "r1" }>
    |>set-content- "$i.txt"
  }elseif($driver.contains( "h32~")){
    (get-content- "$i.txt" )|>>foreach- $_-replace- "h32" , "r2" }>
    |>set-content- "$i.txt"
  }
  $i=$i+1}
  
```

© 株式会社メディアベース

コマンドを知りたい場合

get-help コマンド名

または get-help コマンド名 -online

→コマンドの説明が表示されます。

お疲れ様でした、当社についての理解度が少しでも高まれば幸いです。